

平成 25 年度 第 4 地区 図書委員夏期研修会

期日 2013年8月8日(水)
会場 千葉県立幕張総合高等学校 会議室
参加校 14校(教職員17名,生徒28名)
生浜高校からは2名参加しました。
4年D組 矢野 薫
3年C組 佐藤 葵

《日程》

9:30～ 受付
10:00～ 開会
10:10～ 交流会・読書会 (テキスト 大塚敦子氏の作品の一部)
12:00～ 昼食
13:10～ 会場設営
13:30～ 講演会 演題「ともに生きる」
講師 大塚敦子氏
14:30～ 座談会
15:30 終了予定

【読書会】

交流会で自己紹介をし、グループに馴染んできた頃、読書会のスタートです。方法は、リテラチャー・サークル（簡略型）。グループのメンバーはそれぞれ

- (1) 思い出し係
- (2) 質問係
- (3) 選び出し係
- (4) イラスト係

4つの役割を分担して本を読みます。時間を決めて、グループ内で各役割ごとに発表しました。

【講演会】

演題 「ともに生きる」
講師 大塚 敦子 氏 (フォトジャーナリスト)

大塚 敦子 (おおつか あつこ、1960年 -)氏は、日本のジャーナリスト、写真家、ノンフィクション作家。

和歌山県和歌山市出身。上智大学文学部英文学科卒業。商社勤務の後、1986年よりフォトジャーナリズムの世界に入る。パレスチナの民衆蜂起・天安門事件・湾岸戦争などの国際紛争報道を経て、1992年以降は、主に欧米を舞台に、死と向きあう人

々の生き様、自然や動物との絆を活かして人や社会を再生する試みを取材・執筆している。

エイズとともに生きた女性の記録『いのちの贈りもの ― 犬、猫、小鳥、そして夫へ』で、1998年準太陽賞、多発性骨髄腫と診断された女性の最後の1年間を飼い猫の目から記録した写真絵本『さよなら エルマおばあさん』で、2001年講談社出版文化賞絵本賞、小学館児童出版文化賞受賞。ボスニア・ヘルツェゴビナのコミュニティ・ガーデンを舞台に、異なる民族の少女たちが出会い、友情を結ぶ姿を記録した写真絵本「平和の種をまく ― ボスニアの少女エミナ」が2008年青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部の課題図書に選出。

アメリカ・ワシントン州の最重警備女子刑務所での介助犬訓練プログラムのルポ「犬が生きる力をくれた」、カリフォルニア州の少女更生施設での介助犬育成を追った「介助犬を育てる少女たち」、サンフランシスコ刑務所で受刑者の心のリハビリをめざす有機農業プログラムをルポした「野菜がかれらを育てた」など、自然や動物との絆を犯罪や非行をした人々の心の再生に活かす試みに焦点をあてた著作が多い。また、写真絵本「地雷のない世界へ」、青い鳥文庫「はたらく地雷探知犬」のように、人と犬の絆という視点から、戦争と復興について子どもたちに伝える児童書も書いている。（ウィキペディアより）

本校図書館で借りられる大塚敦子氏の書籍

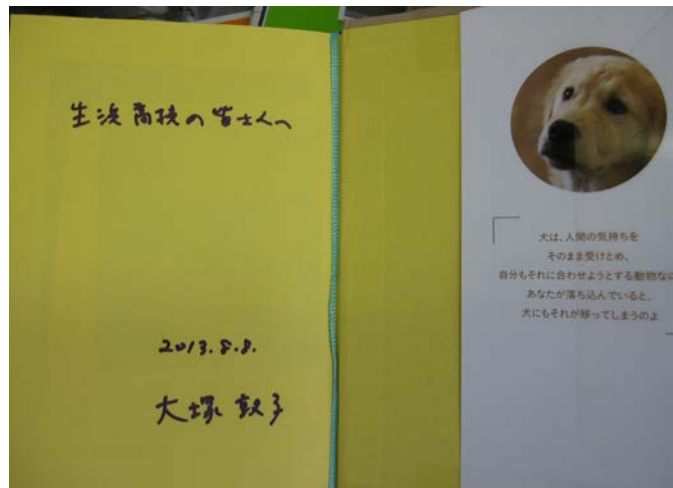


『さよなら エルマおばあさん』
『いつか帰りたいぼくのふるさと』
『介助犬を育てる少女たち』
『動物たちが開く心の扉』





サインをいただきました。



【参加した図書委員の感想】

4年D組 矢野 薫

私は先日行われた図書委員夏期研修会に参加してきました。

昨年の研修会は半日でしたが、今年の研修会は1日あり、長かったです。とても楽しい時間を過ごすことができました。

午前中は、他校の図書委員や他校の先生と自己紹介や話をしました。初めての読書会は、私は連想係をしました。本文から読み取り連想したことをグループに伝えることができ、他の人の意見も聞いて様々な考え方があると感じました。

午後は、大塚敦子さんの講演をプロジェクターで写真を見ながら聴きました。大塚さんのフォトジャーナリストとしての貴重な体験談等を話していただき、とても貴重な体験をすることができました。

3年C組 佐藤 葵

「図書委員夏期研修会っていったい何するんだろう？」それが会場へ行くまで私の中を占めていた感情です。

幕張総合高校は、広く大きかったです。まるでどこかの企業に入り込んだような錯覚を覚えました。

席に座って、10分もしないうちに研修会が始まりました。指示されたとおりに自己紹介を紙に書き、同じグループの人たちに自分を説明しました。私のグループは、個性的で話の上手な人が多かった。読書会での私の役割は、イラスト係でした。グループの話し合いでは、各自思ったことを自由に言い合い、時に脱線したりしながら読書会が終わりました。午後には、大塚敦子さんの講演で、大塚さんの作品の理解をさらに深めました。

研修会で学んだことをこれからの私に生かし、より成長できるようにならなければならないと思いました。

交流会の中で心理テストをしました。

「あなたは、馬、牛、猿、虎、羊を連れて旅に出ました。すべての動物は連れては行けません。1番最初に置いていく動物は、何ですか？2番目、3番目、4番目まで順に考えてください。最後に残る動物は何ですか？」

ここでいう動物は、自分にとってそれぞれ意味があります。

以下がその意味です。

馬→仕事、牛→ごはん、猿→子ども・相棒、羊→恋人、虎→親